生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	アミノ安息香酸による腸管上皮バリア制御機構と潰瘍性大腸炎における代謝動態の解明		
1. 研究の目的と方法	大豆や小豆に含まれる「アミノ安息香酸」と呼ばれる物質を含有する食品成分を広く探索し、ヒトの腸内細菌によってどのように代謝されるかを明らかにします。また、アミノ安息香酸が人間の体内にどのような作用を発揮するのかを解明し、便中のアミノ安息香酸の含有量と潰瘍性大腸炎の活動性や重症度との関連を調査します。 このために、患者様からいただいた便を体外で培養し、アミノ安息香酸を分解する腸内細菌を調べます。さらに、通常診療で採取した血液の残余検体を用いて、アミノ安息香酸を分解する腸内細菌やその代謝産物が生体に及ぼす影響について調べます。 また、本研究以外の研究「腸管上皮分化誘導を介した新しい炎症性腸疾患治療薬の開発」（受付番号：32-164(10245)）、「炎症性腸疾患における腸管上皮防御機構破綻機序の解明と粘膜治癒促進治療の開発」（受付番号：32-152(10233)）において腸管生検組織(腸管上皮細胞)をご提供していただいた患者様につきましては、体外で培養した細胞をアミノ安息香酸で刺激して、どのような遺伝子やタンパクの発現変化が現れるのかを調べさせていただきます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	先行する研究の「腸管上皮分化誘導を介した新しい炎症性腸疾患治療薬の開発」（受付番号：32-164(10245)）、「炎症性腸疾患における腸管上皮防御機構破綻機序の解明と粘膜治癒促進治療の開発」（受付番号：32-152(10233)）で腸管上皮細胞を採取され保管されており、潰瘍性大腸炎の患者様もしくは潰瘍性大腸炎を持たない対照群となる患者様で、東京慈恵会医科大学附属病院に通院されていた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	腸管上皮細胞	
	(2)試料の取得の方法	過去の先行研究で取得された腸管上皮細胞を二次利用します。	
	(3)情報の種類	年齢, 性別, 喫煙歴, 飲酒歴, 家族歴, アレルギー, 内服薬, 疾患名, 治療内容, 手術既往, 手術内容, 血液検査結果, 便検査結果, 画像検査所見	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集させていただきます。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の	研究機関名	東京慈恵会医科大学　消化器・肝臓内科

	研究責任者または研究代表者	氏名	豊永貴彦
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　消化器・肝臓内科　田中美帆	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	＜共同研究機関＞ キッコーマン株式会社 中島文子	
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された共同研究機関のもとに、以下の方法で集められます。また、以下の機関（あるいは会社）に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。 機関名称：株式会社マクロジェン・ジャパン 提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付、セキュリティのかかったクラウド上にアップロードなどの方法で提供されます。 試料・情報の利用または提供予定開始日：2026 年 1 月以降		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　消化器・肝臓内科 研究責任者：講師　豊永　貴彦（とよなが　たかひこ） 窓口担当者：大学院生　田中　美帆（たなか　みほ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3201） 対応時間：平日 9:00-16:00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。